

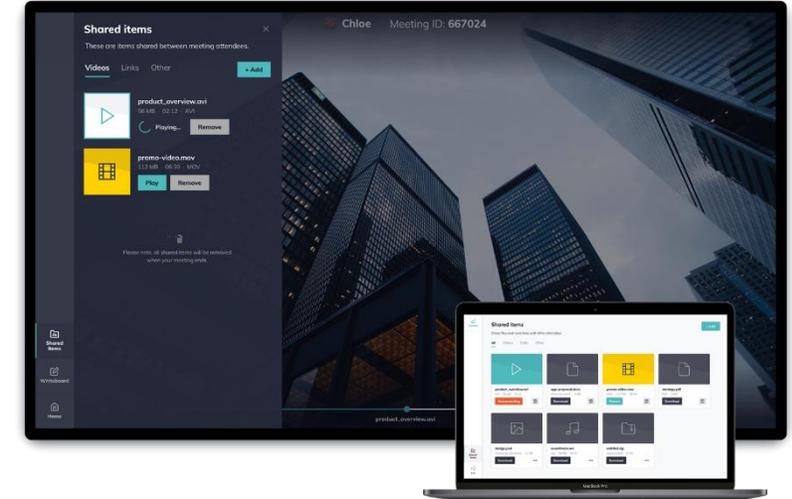
newline

Connect. Create. Collaborate.

Newline 正規販売代理店
株式会社フォースメディア

取扱説明書

製品概要



Newline Castのワイヤレスプレゼンテーションソフトウェアは、Newline Cast レシーバーと DisplayNote Appの2つのコンポーネント部分で構成されています。

Newline Cast レシーバー

Newline Cast レシーバーは、DisplayNote Appからワイヤレスプレゼンテーションの画面を受信するためのWindows用のソフトウェアアプリケーションです。

DisplayNote App

DisplayNote Appは、ワイヤレスプレゼンテーションの目的で、Newline Cast レシーバーに接続する機能をユーザーに提供します。

Newline Cast レシーバーは、DisplayNote Appからワイヤレスプレゼンテーションの画像を受信するためのソフトウェアアプリケーションです。

レシーバー要件

- OS : Windows 8以上
- CPU : Intel® i5 4th Generation以上
- RAM : 8GB
- GPU : Intel® HD Graphics 2500用の最新のドライバー

Newline製内蔵Windowsパソコン (X-PC2) は以下の仕様となっておりますので、仕様を満たしております。

仕様

- OS : Windows 10 Pro 64bit
- CPU : Intel® Core™ i5-7200U Processor @2.50GHz~3.1GHz
- RAM : 8GB (4GB*2), Dual change DDR4 2133MHz
- GPU : Intel HD Graphics 620

このSaaSは、以下のFQDNでサービスを提供します。

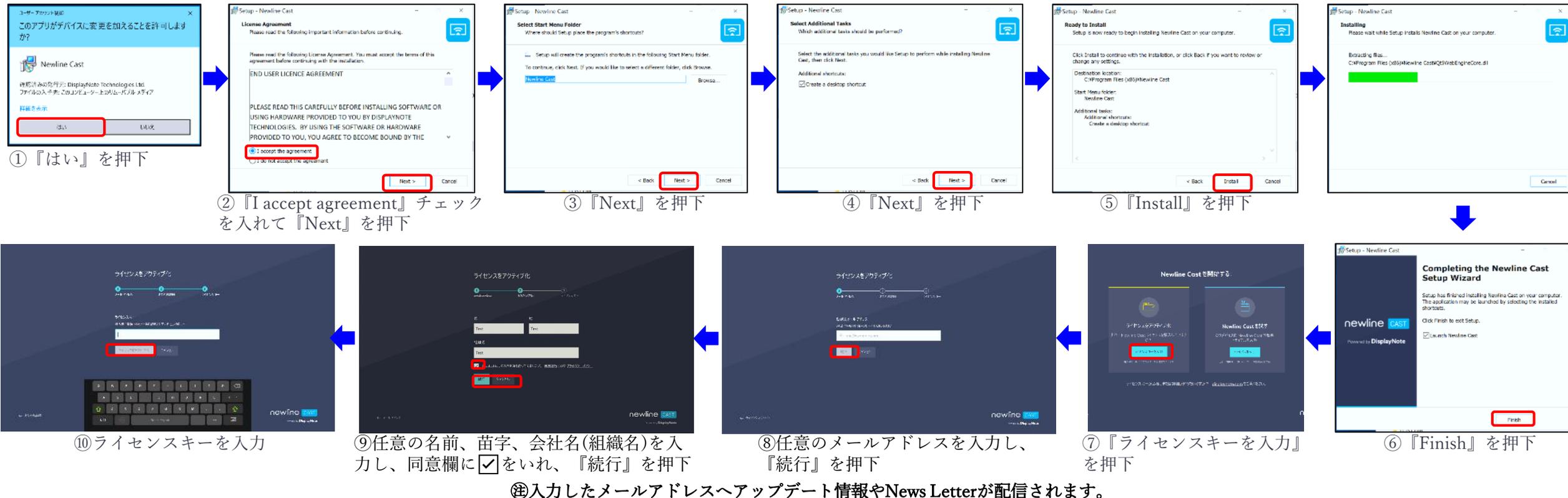
- netcheck.joinmontage.com
- montage.displaynote.com
- xmpp:displaynote.com
- stuntturn-prod-ireland.displaynote.com
- stuntturn-prod-mumbai.displaynote.com
- stuntturn-prod-singapore.displaynote.com
- stuntturn-prod-virginia.displaynote.com
- stuntturn-prod-california.displaynote.com

⑨Android版は、出荷時にプリインストールされております。

インストールとアクティベーション (Windows版)

Newline Cast レシーバーアプリケーションをインストールしてアクティブにするには、次の手順に従います。

1. ソフトウェアインストーラ  setupNewlineCast-1.1.0-12 をダブルクリックし、プロンプトに従ってインストールを完了します。
2. ソフトウェアをインストール終了後に、Newline Cast レシーバーアプリケーションを実行します。
3. ライセンスキーを入力して、アクティベートを行います。
4. Newline Cast レシーバーアプリケーションのセットアップの完了です。

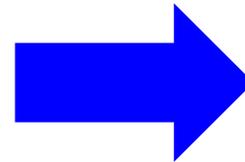


ソフトウェアの更新

更新プログラムが利用可能な場合、アプリケーション起動後に下図のメッセージが表示されます。手順に従ってアプリケーションの更新を行ってください。



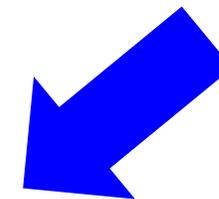
Newline Castを起動し、更新可能なバージョンがあると上記のように『アップデートをインストール』か『今は行わない』を聞かれるので選択します。



『アップデートをインストール』を選択すると、確認画面が表示されます。再度、『アップデートをインストール』を選択します。

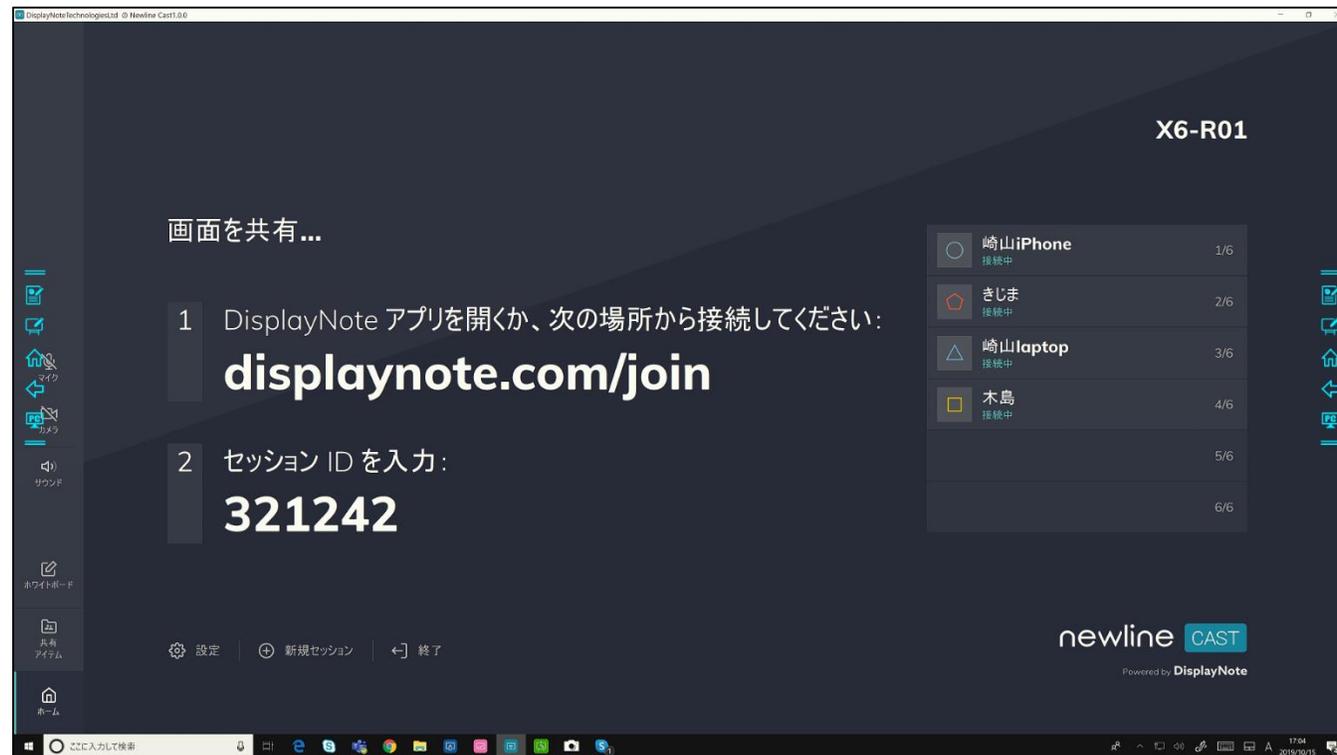


※アップデートインストール画面



レシーバーホーム画面

Newline Cast レシーバーがインストールされ、起動すると下図のホーム画面が表示されます。下図は、4人の会議参加者がNewline Cast レシーバーに接続している状態です。（同時接続6人まで）



Newline Cast レシーバーアプリケーションのユーザー インターフェイスと主な機能の説明については、今後のセクションで説明します。

⑨Android版は、同時接続は**最大4人**までとなっております。

Newline Cast参加手順①

メインディスプレイ(受信側)画面



Webアプリケーション経由で接続、またはクライアントアプリケーションダウンロードのためにアクセスするURL

displaynote.com/join

2 セッション ID を入力:
321242

接続者リスト
このリストから、画面共有開始のリクエストを送信したり、接続の切断を行うことができます。

6桁/10桁のセッションID
クライアント接続時に入力必須

・6桁のセッションID
セッションごとにランダムなセッション ID が生成され、セッションに参加するためには、このIDの入力が必要となります。
クラウドを介した接続を行う場合、セッションIDは6桁で表示されます。

・10桁のセッションID
クラウド接続を行わずに、**同じローカルエリアネットワーク上**のデバイスからのみの接続を行う場合、10桁のセッションIDが生成されます。

Newline Cast参加手順②

WindowsパソコンからNewline Castに参加するためには、以下2通り方法があります。

1. Google Chromeブラウザから<https://displaynote.com/join/>にアクセスし、Google Chromeブラウザを使用し、クラウド経由で参加。
※拡張機能より『DisplayNote Extension』を入手してください。
2. DisplayNoteアプリ経由で参加。<https://displaynote.com/join/>からアプリケーションをダウンロードし、インストールをおこなってください。

Step 1

メインモニター(レシーバー)に
表示されている6桁or10桁
のセッションIDを入力

Step 2

任意の名前を入力

Step 3

「参加」を押下し、START



DisplayNote App

セッションに参加

セッション ID
セッション ID は 6 桁または 10 桁の数字です

Step 1

お名前
他の出席者に身元を知らせる

例: Jane Smith Step 2

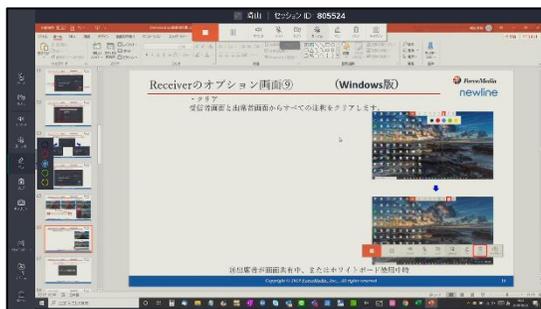
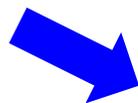
参加 Step 3

設定 · お手伝いが必要ですか? · プライバシーポリシー

DisplayNote v 1.3.1

レシーバーのメニュー画面①

- ・ホームアイコン
参加者が画面投影を行っているとき、またはホワイトボードを開いているときにホーム画面に戻るためのアイコン。



『メニュー』を押下すると
ホームオプションが開かれます。



『ホーム』を押下すると、ホーム画面に戻ります。

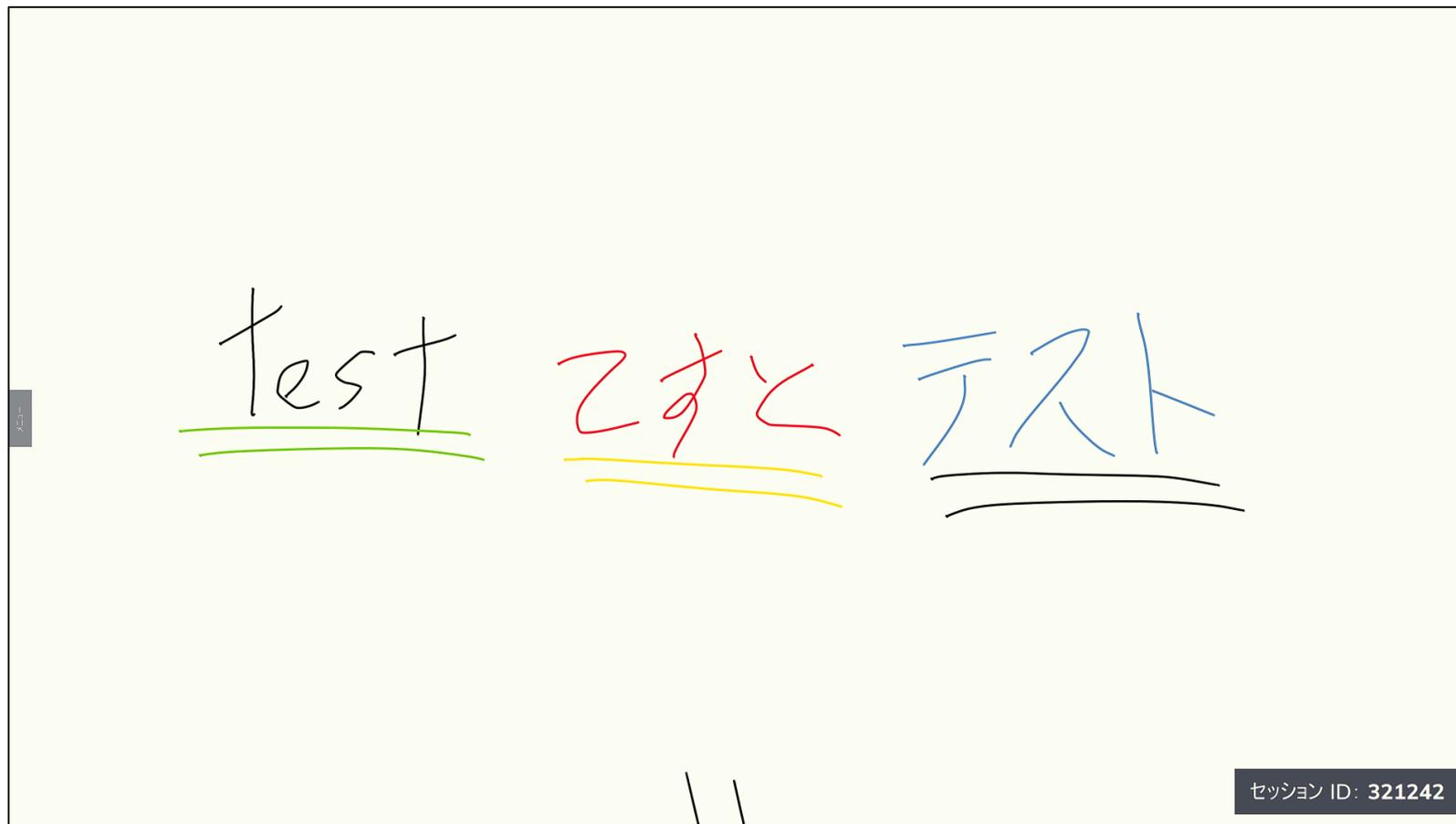
レシーバーのメニュー画面②

- ・共有アイテムアイコン
レシーバーまたは参加者が共有したビデオやURLリンク、セッション中に作成されたスクリーンショットや、その他ファイルが含まれます。



レシーバーのメニュー画面③

- ・ホワイトボードアイコン
Newline Castに搭載された簡易ホワイトボードを起動するアイコン。詳細については、このドキュメントで後述します。



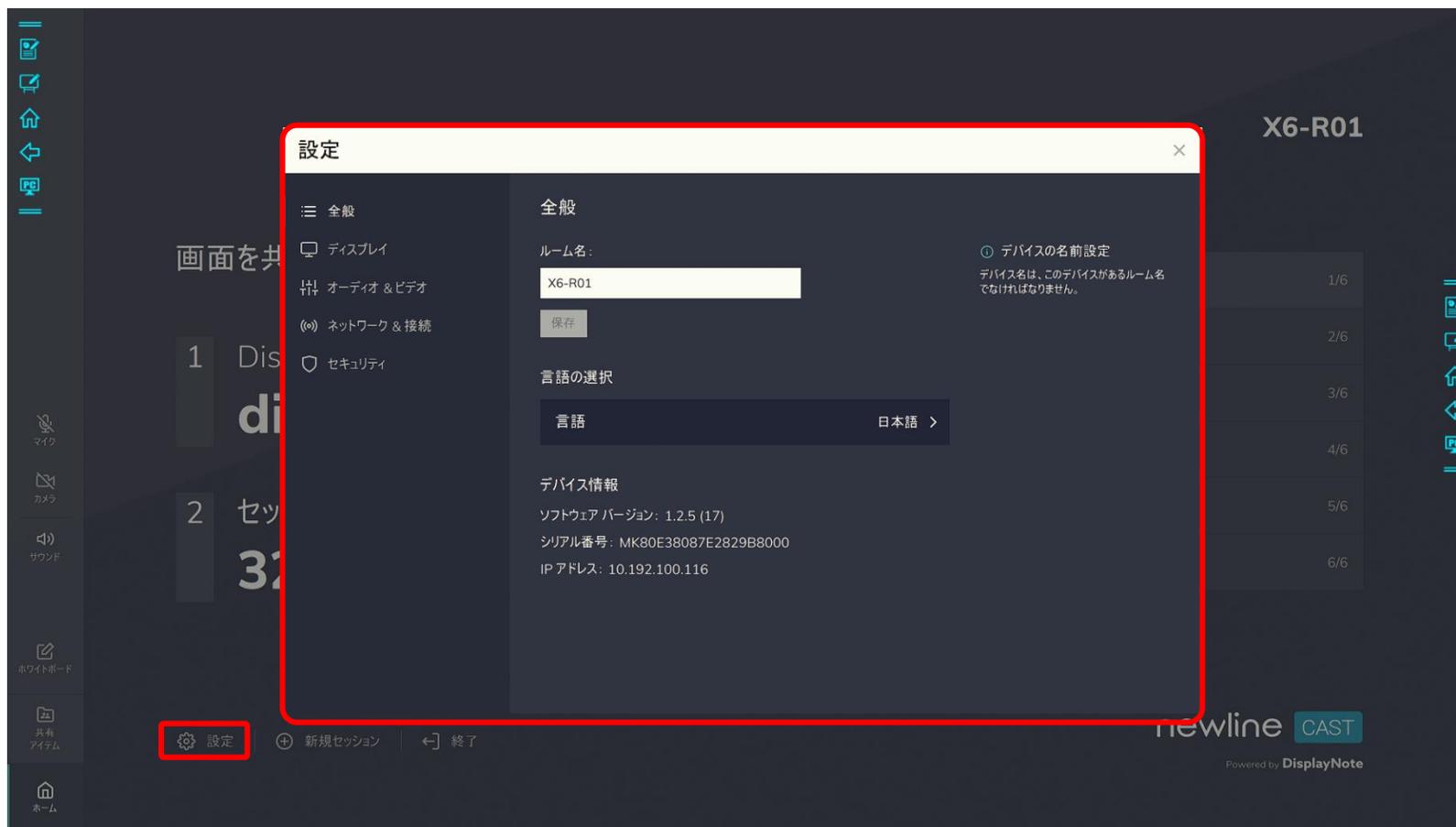
レシーバーのメニュー画面④

- ・サウンド、カメラ、マイク
- サウンド、カメラ、マイクを有効または無効にし、レシーバーの音量を調整します。

The screenshot shows a dark-themed interface for a receiver. On the left side, there is a vertical toolbar with three icons: a microphone, a camera, and a speaker. Red arrows point from these icons to labels on the left: 'マイク On/Off' (Microphone On/Off), 'カメラ On/Off' (Camera On/Off), and 'サウンド On/Off、音量調整' (Sound On/Off, Volume Adjustment). The main area displays instructions for joining a session: '画面を共有...' (Share screen...), '1 DisplayNote アプリを開くか、次の場所から接続してください: **displaynote.com/join**', and '2 セッション ID を入力: **321242**'. On the right, there is a list of connected devices: '崎山iPhone' (1/6), '崎山laptop' (2/6), and three unnamed devices (3/6, 4/6, 5/6, 6/6). At the bottom right, there is a small video preview window showing a person in a meeting room, with a red box around it and an arrow pointing to the label 'カメラ On時の画像 ※レシーバーにカメラがある場合' (Image when camera is on ※ If there is a camera on the receiver). The bottom of the screen shows 'newline CAST' and 'Powered by DisplayNote'.

レシーバーのメニュー画面⑤

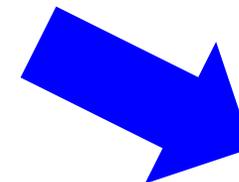
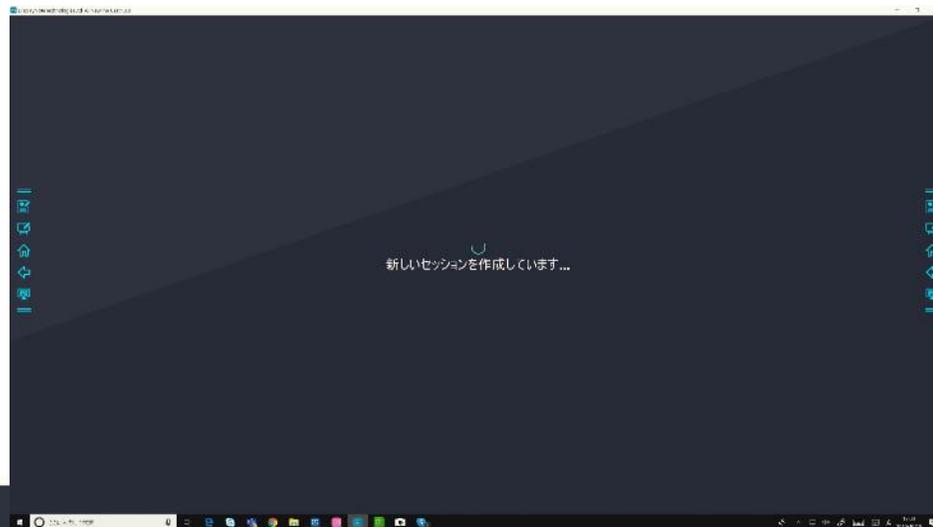
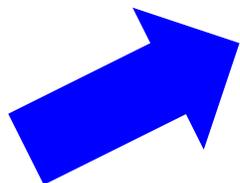
- ・設定
メインディスプレイ(レシーバー)の設定です。詳細については、後述します。



設定画面

レシーバーのメニュー画面⑥

- ・新しいセッション
現在の会議を終了し、新しいセッション ID を使用して新しいセッションを開始します。



『新規セッション』を押下



新しいセッションIDが出力

- ・終了
会議を終了し、アプリケーションを終了します。

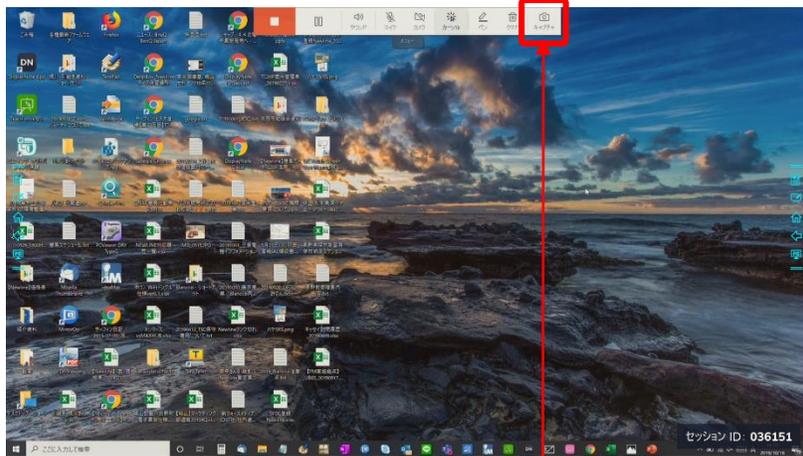


『終了』を押下

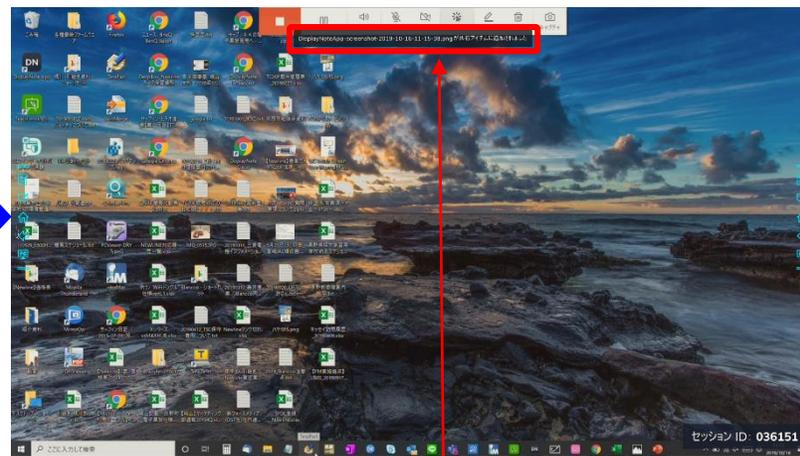
レシーバーのメニュー画面⑧

・キャプチャ

キャプチャ オプションは、表示されているホワイトボードまたは投影画面のスクリーンショットを取得します。スクリーンショットは共有アイテムに自動的に追加されます。



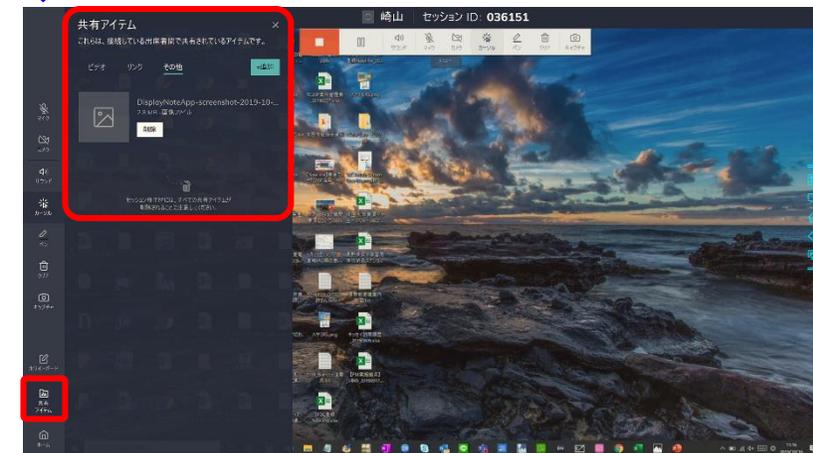
『キャプチャ』を押下



保存されたファイル名が表示される



『メニュー』を押下し、オプション画面を出力させる



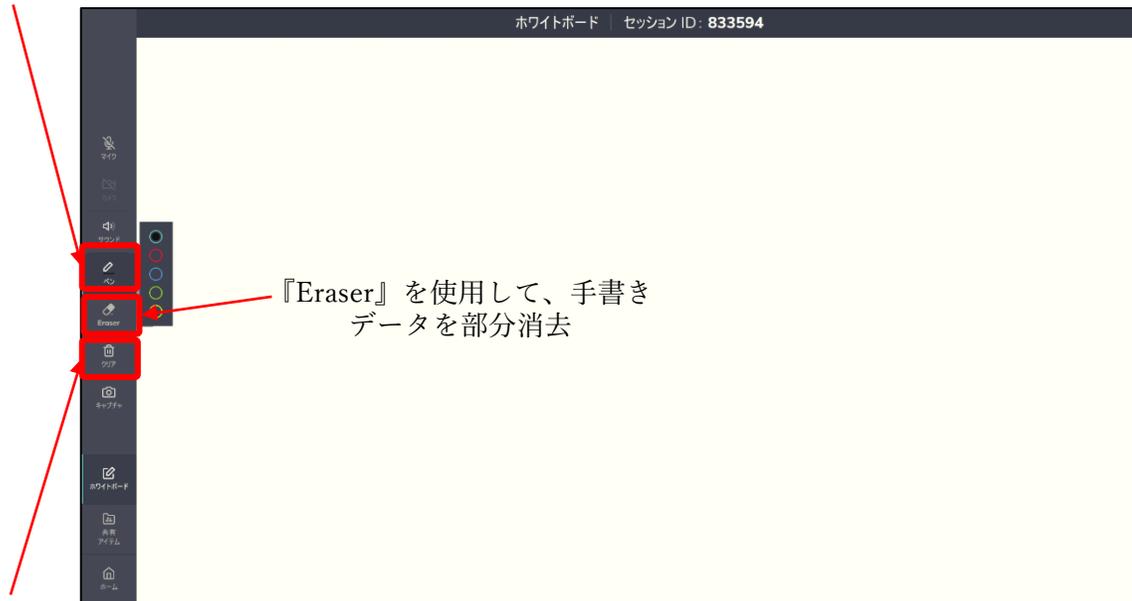
『共有アイテム』を押下し、共有アイテム画面を確認すると先ほどキャプチャした画像が追加される

⑧参加者(クライアント)が画面共有中、またはホワイトボード使用中時

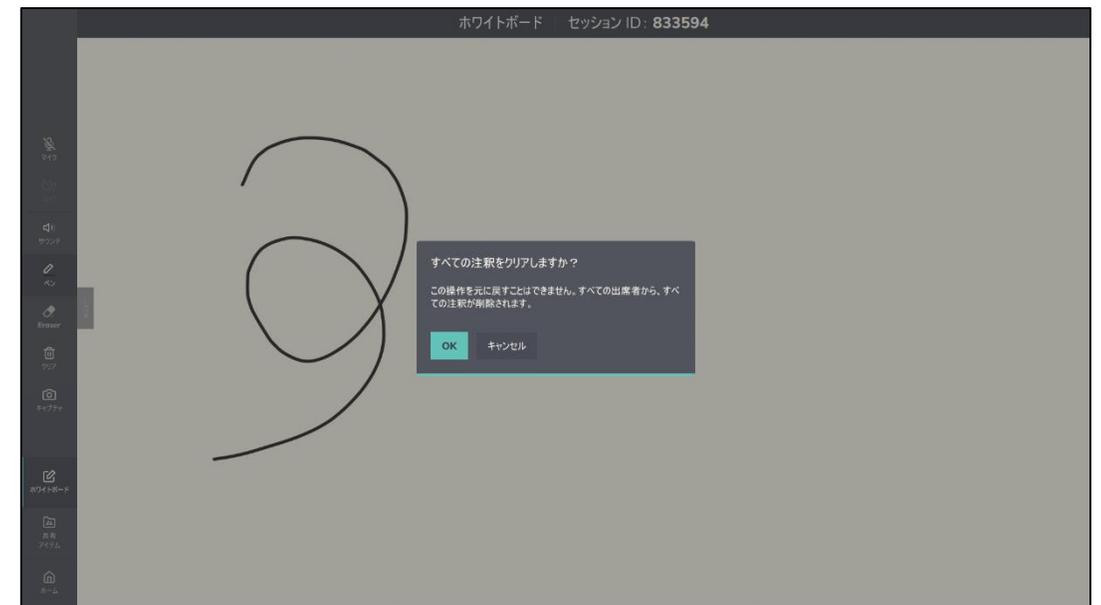
レシーバーのメニュー画面⑨

- ・手書き入力
ペンやEraser、クリアアイコンを使用すると、ホワイトボードまたは投影されている画面の上に手書き入力および、その編集をおこなうことができます。

『ペン』を押下し、色を選択



『クリア』を押下することで注釈を削除



手書きデータは参加者の画面にも同期され、参加者（クライアント）側からも手書きデータの入力および編集を行うことができます。

⑨参加者(クライアント)が画面共有中、またはホワイトボード使用中時

受信機の設定は、ホーム画面の設定メニューを介してアクセスすることができます。
次の設定を使用できます。

・全般

ソフトウェアバージョン、言語選択、シリアル番号、IP アドレスなどのデバイス情報が含まれます。同じネットワーク内にAirplay機能を搭載した機器が複数設置されている場合などに、ルーム名を変更して、認識しやすくすることができます。

ホーム画面より『設定』を押下

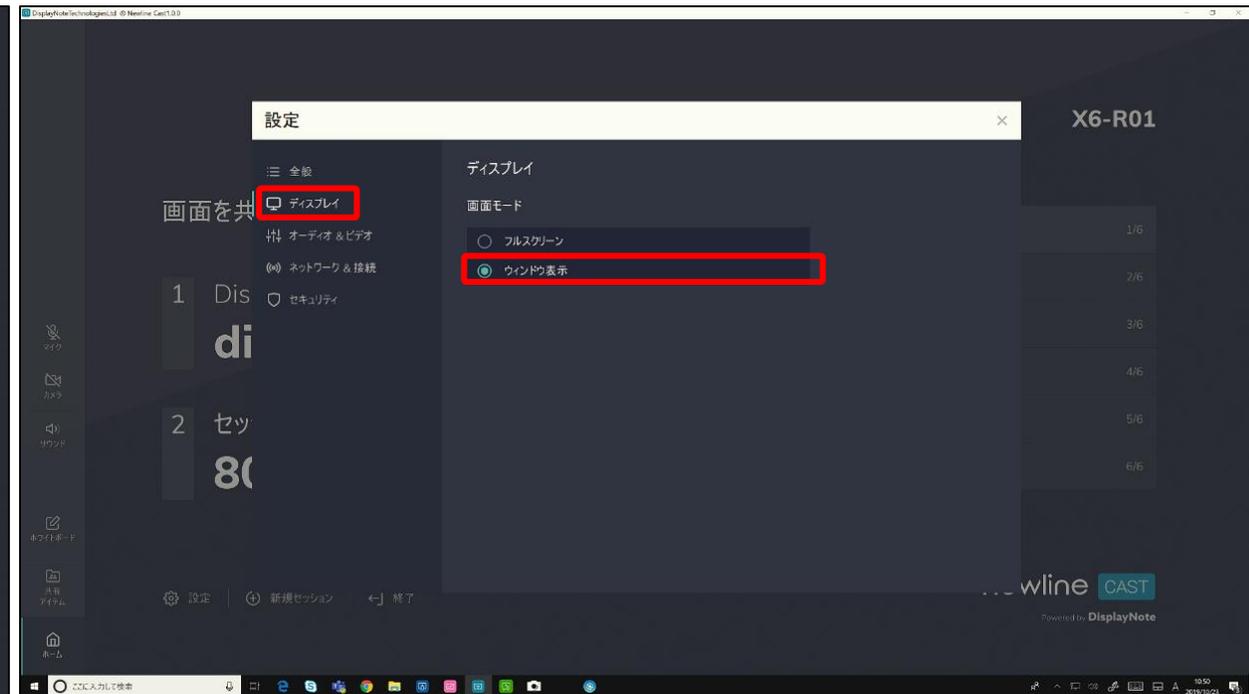
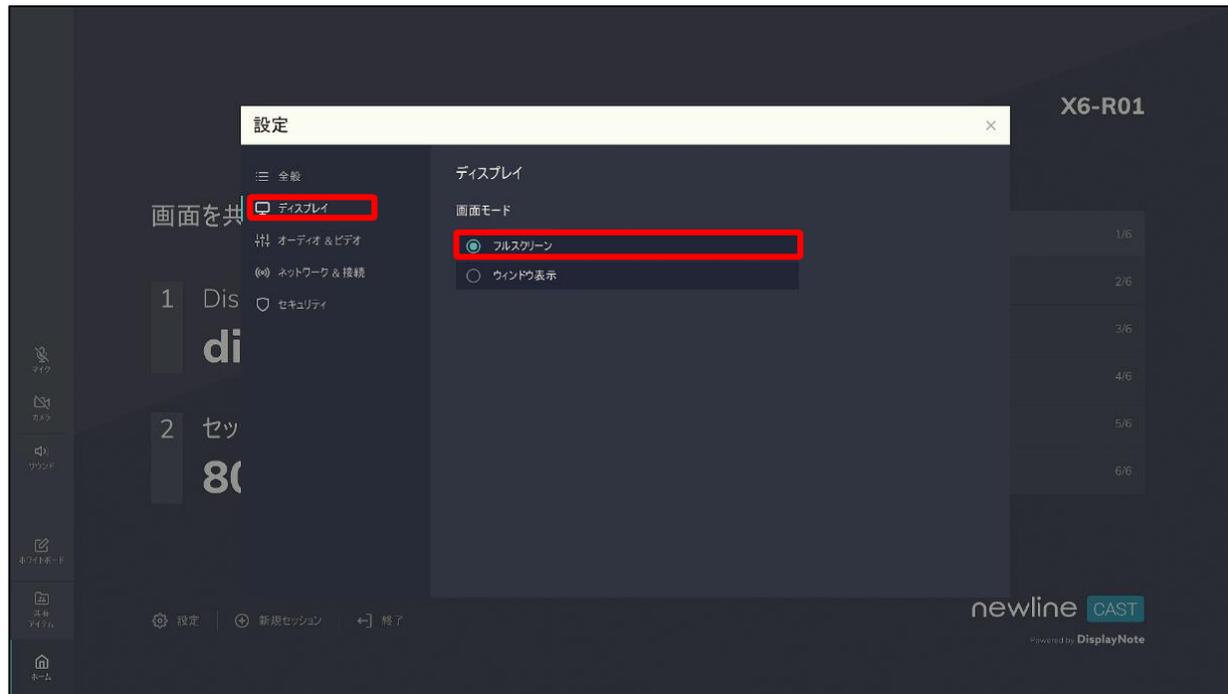


『全般』を押下することで、バージョン、言語、シリアル番号、IPアドレスなどのデバイス情報が確認できます。ルーム名を任意の名前にし、『保存』を押下することで変更できます。

左図の『言語』を押下することにより言語変更が出来ます。



・ディスプレイ
Newline Cast画面を『フルスクリーン』または、『ウィンドウ表示』の切り替えができます。

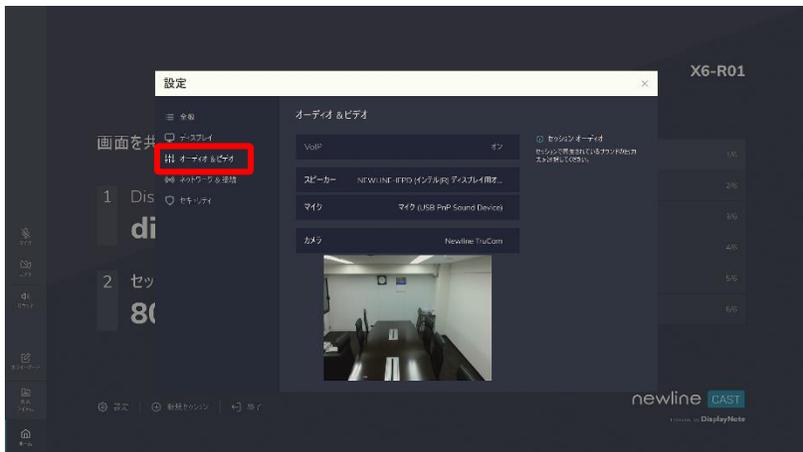


『ディスプレイ』を押下することで、『フルスクリーン』 or 『ウィンドウ表示』選択できます。

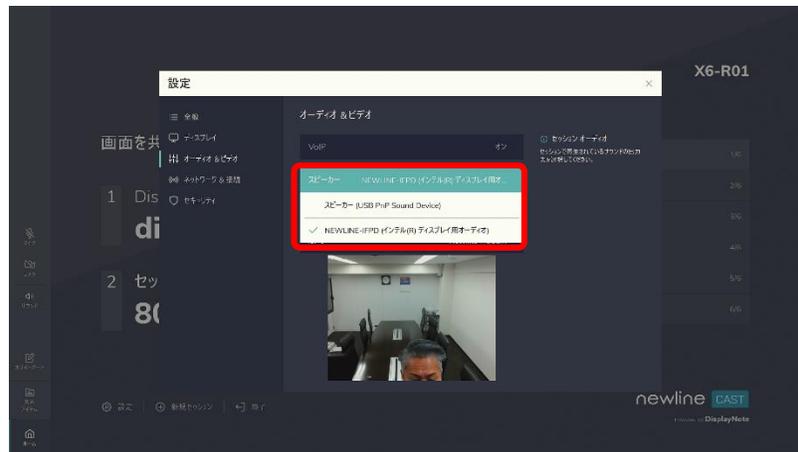
レシーバーの設定③

(Windows版)

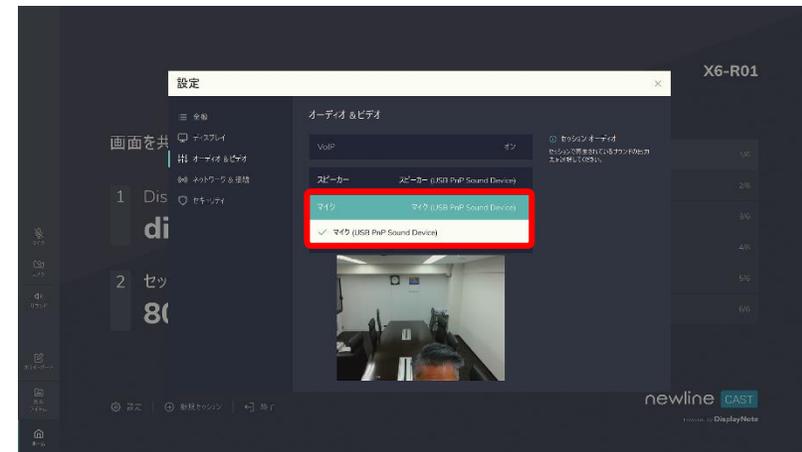
・オーディオ&ビデオ
ユーザーは、セッション内で使用するスピーカー、マイク、カメラを選択できます。



↑ 『オーディオ&ビデオ』を押下

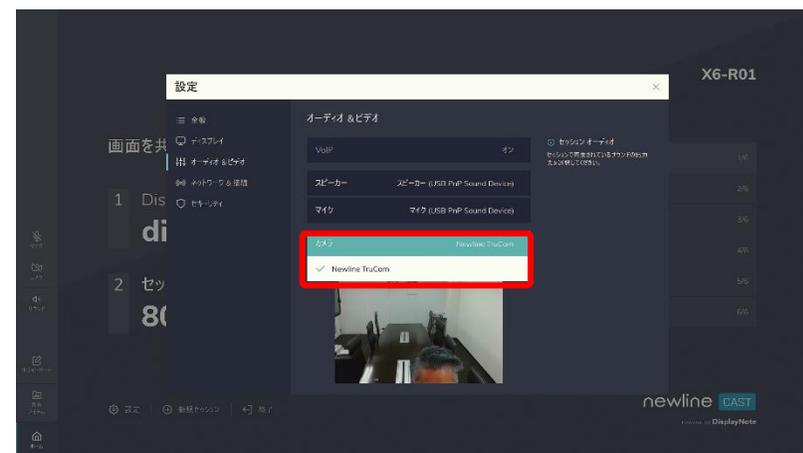
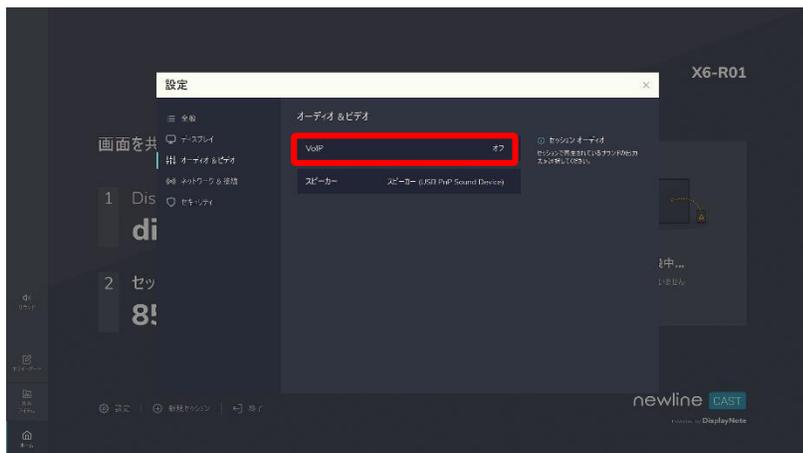


↑ スピーカー設定画面



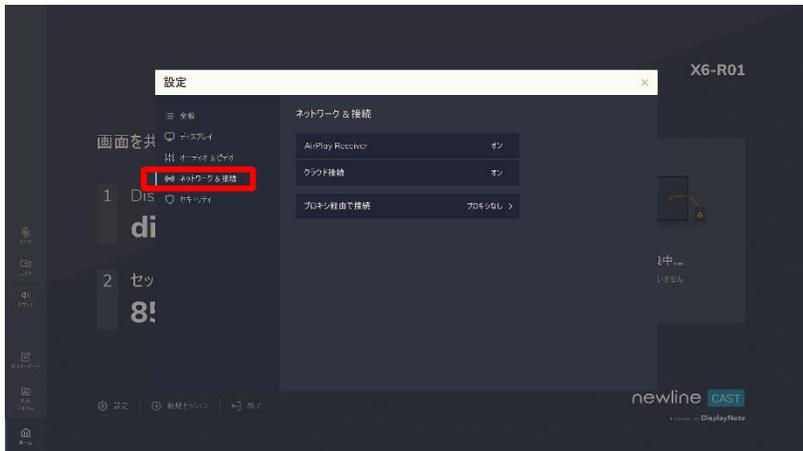
↑ マイク設定画面

VoIPのオン/オフ設定→
※オフにするとカメラ/マイク機能がオフになります。



←カメラ設定画面

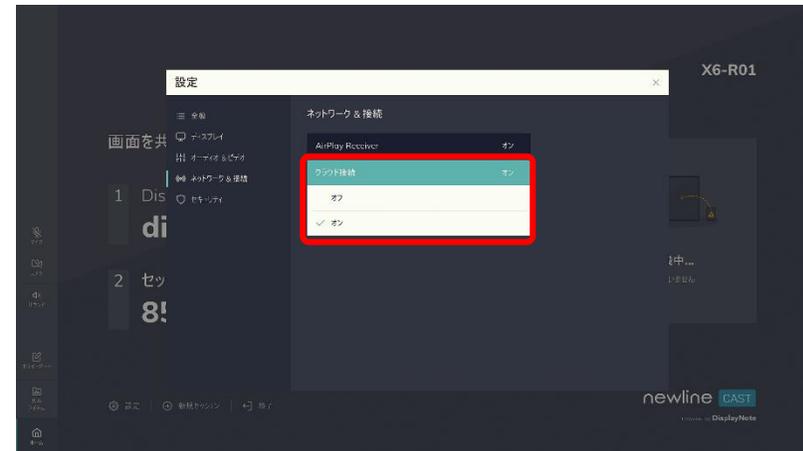
・ネットワークと接続
Airplay 接続、クラウド接続、およびプロキシ接続のオン/オフを選択できます。ユーザーが Airplay をクリックすると、Airplay 名やコードなどの詳細が表示されます。



↑ 『ネットワークと接続』を押下



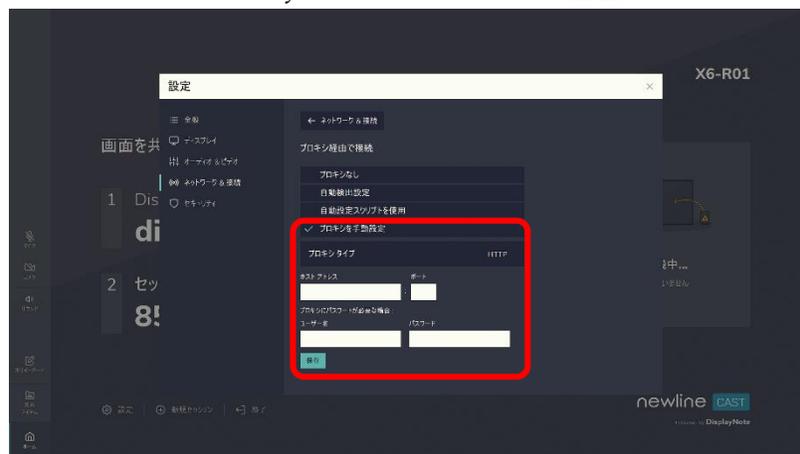
↑ AirPlay レシーバーオン/オフ画面



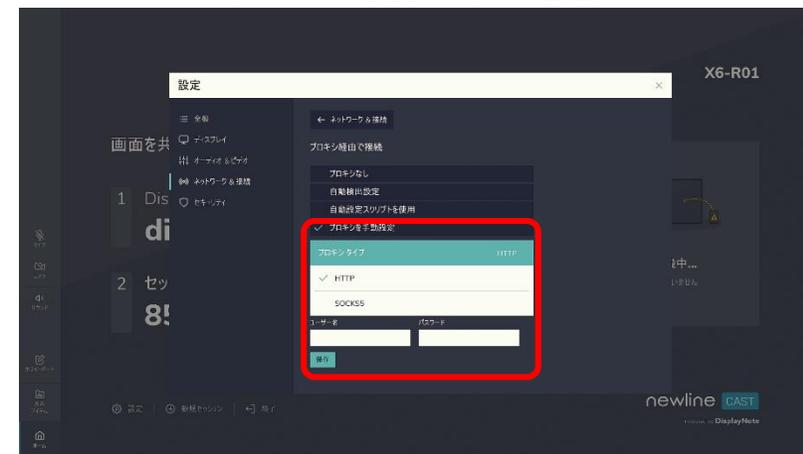
↑ クラウド接続オン/オフ画面



↑ プロキシ設定画面



↑ プロキシ手動設定画面

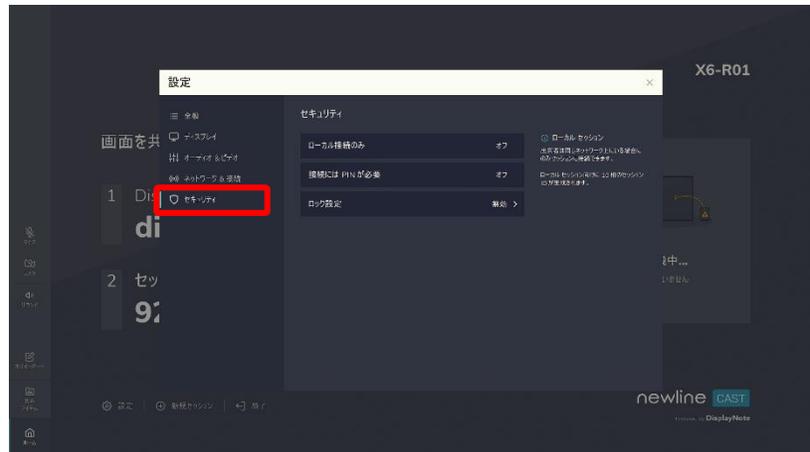


↑ プロキシタイプ設定画面

レシーバーの設定⑤

(Windows版)

・セキュリティ
ユーザーは、ローカル接続のみを許可することを選択できます(選択した場合、同じネットワークに接続されている機器のみセッションに参加できます)。PINを有効にして、セッションの接続にさらなるセキュリティを追加できます。IT管理者が設定をロックすることも可能です。



↑ 『セキュリティ』を押下



← ローカル接続設定画面



↑ ロック設定画面

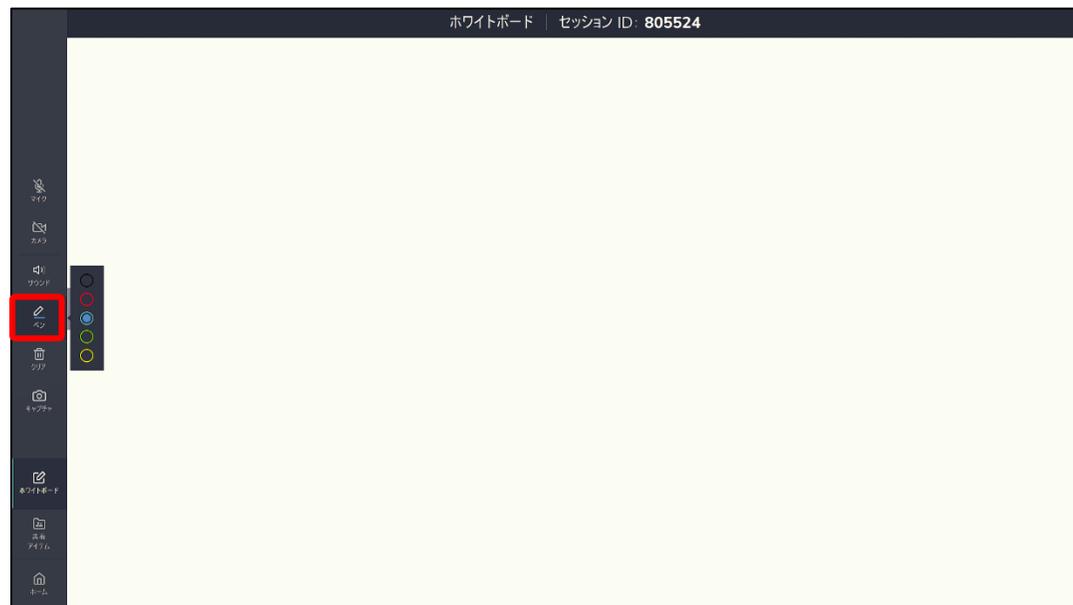


← 接続PIN設定画面

Newline Castは参加者からのワイヤレスプレゼンテーションの他に、簡易のコラボレーションホワイトボード機能も備わっています。

レシーバーのメニューでホワイトボードアイコンをクリックしてキャンパスを開き、参加者がメモを取ることができます。アイデアを視覚的に素早くまとめるのに最適です。ホームボタンを押下してホーム画面に戻ります。

手書き入力はレシーバーの画面からのみではなく、参加者の機器の画面から行うこともできます。



Webアプリケーション①

WindowsパソコンやMacから画面を投影する送信側（クライアント）はインストールして使用するDisplaynoteデスクトップアプリと、Webブラウザを使用するWebアプリの2種類があります。

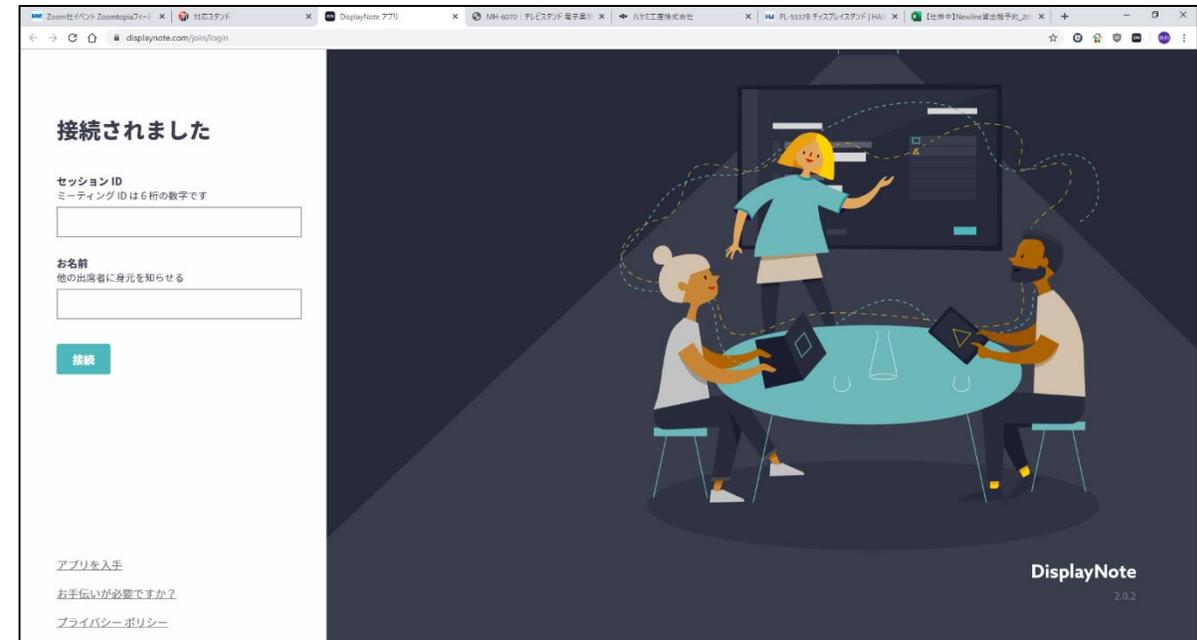
Webアプリは、Google Chromeブラウザを使用します。

OS要件

- Windowsクライアント：Windows10以降
- Macクライアント：Mac OS Sierra 10.12以降

ブラウザ要件

- Chrome browser(version78以降(2019年11月現在))



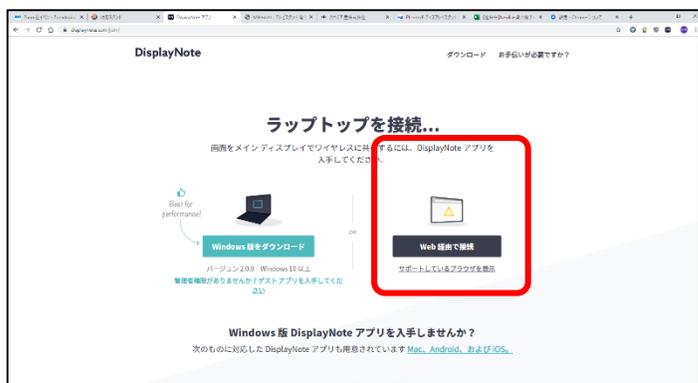
<https://displaynote.com/join/login>
へアクセスした画面

Webアプリケーション②

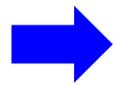
セッションに参加するには、Chrome ブラウザを開き、displaynote.com/joinにアクセスします。セッション ID (Newline Castレシーバーホーム画面に表示) と名前を入力をを求めるメッセージが表示されます。

Google Chrome用のDisplayNote拡張機能は、Chromeウェブストアからダウンロードしてインストール可能です
 ※Google Chrome用ディスプレイノート拡張機能

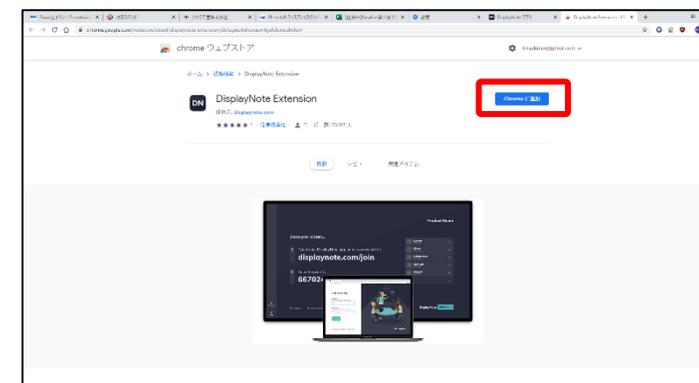
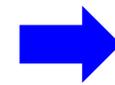
拡張機能をインストールすると、次のスクリーンショットに示すように、DisplayNote 拡張ショートカットを使用してdisplaynote.com/join ページにアクセスできます。セッションに参加する前に、画面全体または特定のアプリケーションウィンドウなど、画面の共有方法を選択するように求められます。



<https://displaynote.com/join>
 へアクセスした画面
 『Web経由で接続』を押下



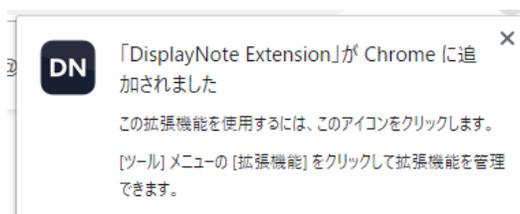
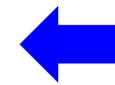
<https://displaynote.com/join/login>
 へアクセスした画面
 『拡張機能を追加』を押下



『Chromeに追加』を押下



『拡張機能を追加』を押下



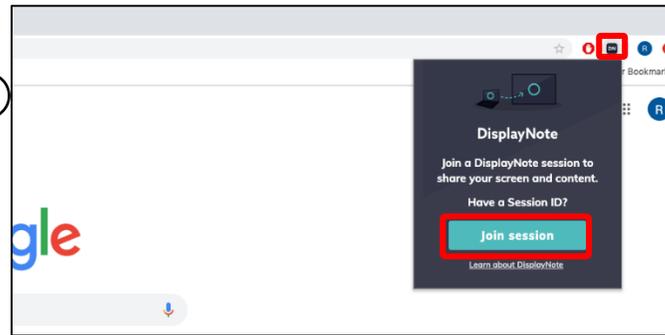
拡張機能追加の完了画面

※セッションに初めて参加する場合、ユーザーは Google Chrome 用の DisplayNote 拡張機能をインストールする必要があります。これは、DisplayNote Web アプリを使用する際に、ブラウザが画面を共有することを承認するために必要です。

Webアプリケーション③

Google ChromeのDisplayNote用拡張機能インストールが完了後、Webアプリケーション経由で参加します。以下2つの方法で参加することができます。

パターン①

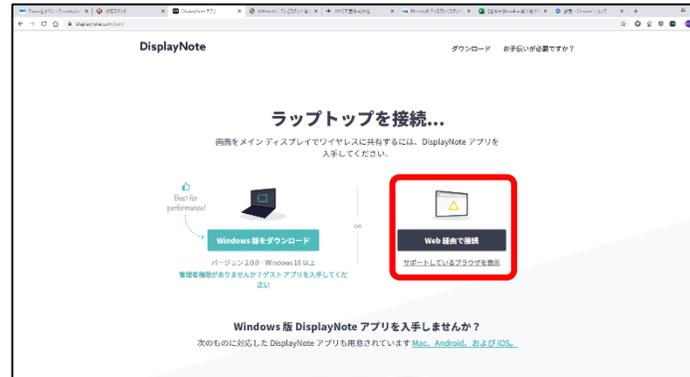


作成したショートカット
DN を押し『join session』押下

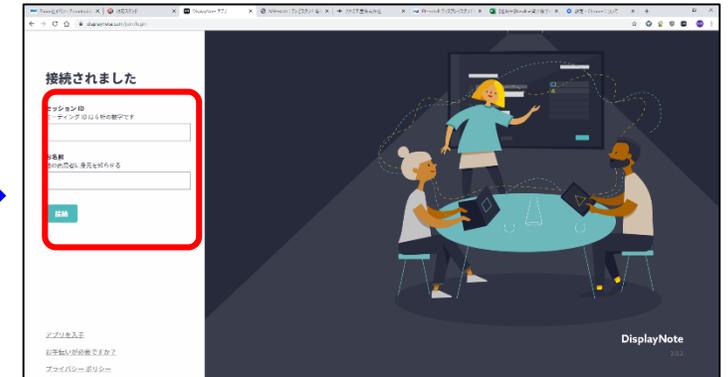
パターン②



メインディスプレイ(レシーバー)に表示されている
<https://displaynote.com/join>
へアクセス



<https://displaynote.com/join>
へアクセスした画面
『Web経由で接続』を押下



<https://displaynote.com/join/login>
へアクセスした画面
IDと任意の名前を入力し『接続』を押下
で画面を投影できます。

送信側（クライアント）画面①

セッションに参加すると、下記のホーム画面が表示されます。アプリのホーム画面には、ナビゲーション用のサイドバーとメインセクションの2つの主要なセクションがあります。

The screenshot shows the 'DisplayNote App' interface. On the left is a vertical sidebar with four icons: a play button (labeled 'セッション'), a microphone (labeled 'マイク'), a folder (labeled '共有アイテム'), and a back arrow (labeled '終了'). On the right is the main content area, which is currently empty and displays the text '現在の所誰もプレゼンテーションしていません' and 'お待ちください、または最初のプレゼンターになりましょう...'. A red box highlights a button labeled '私の画面を共有' (Share my screen) in the main area. Red arrows point from text boxes on the left to the corresponding sidebar icons and from the '私の画面を共有' button to its description box at the bottom.

セッション: ユーザーがワイヤレスで表示するユーザー、ホワイトボード、提示されている URL リンクなど、セッションの現在のアクティビティに対するアクセスを提供します。

マイク: マイクのオン/オフを行います。

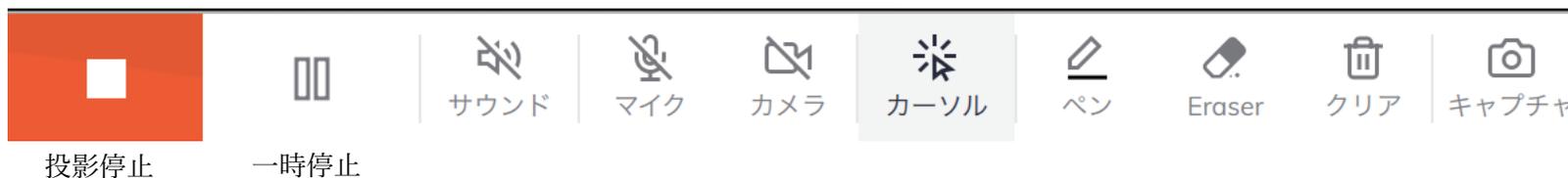
共有アイテム: セッション参加者によって共有されたファイルへアクセスします。詳細は後述します。

終了: セッションから退出します。

私の画面を共有: 自身の画面を、メインディスプレイ(レシーバー)へ投影しプレゼンターになります。

・画面の共有

セッションの参加者は、自分の機器からの画面をレシーバーに投影することができます。別の参加者(クライアント)が共有しているとき、参加者(クライアント)がプレゼンテーションの引き継ぎを確認するメッセージが表示されます。投影中は下図のツールバーがクライアント側の画面に表示されます。



アイコン	機能
停止:	画面の共有を停止します。
一時停止:	画面共有を一時停止し、すべてのセッション参加者に通知します。再度押すと、発表者は再開することができます。
サウンド:	システムサウンドのオン/オフを切り替えます。
マイク:	システムマイクのオン/オフを切り替える
カメラ:	カメラのオン/オフを切り替える。
カーソル:	ペン ツールから注釈を非表示にし、カーソルに切り替えます。
ペン:	ペントールを起動します。
Eraser:	消しゴムを起動し、手書きデータの部分消去を行います。
クリア:	すべての注釈をクリアします。
キャプチャ:	現在の画面のスクリーンショットをキャプチャし、共有アイテムを介してすべてのセッション参加者に共有します。

送信側（クライアント）画面③

・共有アイテム

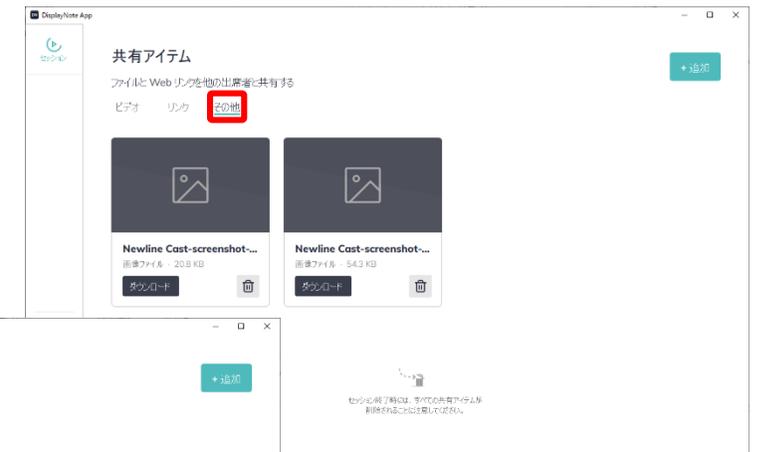
セッションの参加者は、下図のように他の参加者とドキュメント、ビデオ、スクリーンショットといったファイルを共有できます。セッション参加者が共有ファイルをダウンロードできるほか、Newline Cast レシーバーでビデオやURL を直接表示したりすることができます。



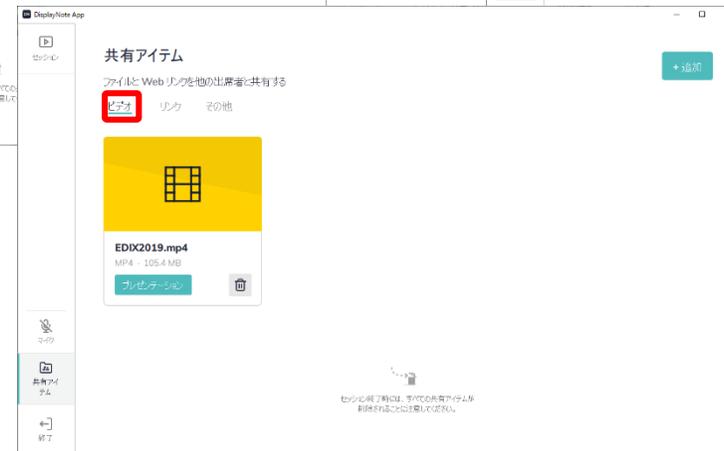
①『共有アイテム』→②『追加』を押下し、任意のファイルを選択します。



リンクの共有画面



その他ファイルの共有画面



ビデオの共有画面

※③セキュリティ上の理由から、セッションの終了後にすべての共有アイテムが削除されます。

共有可能ドキュメント (.doc、.docx、.xls、.xlsx、.pptm、.pptx、.txt、.odt、.ods、.odp)、画像 (.jpg、.png、.pdf)、ビデオ (.avi、.mov、.mp4)、zip、.zip (zips)。

送信側（クライアント）画面④

- ・プレゼンテーションの表示
セッション参加者は、デスクトップアプリでメニュー内の「セッション」アイコンをクリックして、他の参加者の投影画面や、ホワイトボードなどのセッションアクティビティを表示することができます。



セッションの現在のアクティビティを表示している間、ユーザーはペントールを使用して注釈を行ったり、画面をキャプチャしたりすることができます。

送信側（クライアント）画面⑤

・設定

設定から『オーディオとカメラ』『プロキシ設定』『言語』などの各種設定を行うことができます。

『設定』を押下

カメラ/マイク/スピーカー：①カメラ、②マイク、③スピーカーで使用するハードウェアを選択できます。④投影時の画質を選択できます。⑤画面投影中にデバイスを自動的にミュートするオプション

オーディオ & ビデオ **プロキシを設定** 言語

オーディオ & ビデオ

言語の選択：
日本語
Deutsch
English
Español
Français
日本語
Русский
简体中文
繁體中文

設定

オーディオ & ビデオ **プロキシを設定** 言語

オーディオ & ビデオ

プロキシを設定

プロキシを手動設定

プロキシタイプ: HTTP
URL:
ポート:
ユーザー:
パスワード:
SOCKS:

保存 キャンセル

プロキシの設定：ユーザーがプロキシの詳細を設定できるようにします。

設定

オーディオ & ビデオ **プロキシを設定** 言語

オーディオ & ビデオ

① Integrated Camera
② 内蔵マイク (Conexant Smart...
③ スピーカーヘッドフォン (Conexa...
ストリーミングの品質を選択:
④ 高画質で安定したパフォーマンス (推奨)
ストリーミング帯域幅は 720p に制限されます
⑤ 画面共有中はこのデバイスをミュートを選択すると、画面の共有中はデバイスのオーディオがミュートされます。引き続きメインディスプレイ経由で任意のオーディオを出力することができます。注意:これは、ルーム内出席者向けのみ有効にしてください。

OK キャンセル

DisplayNote v1.3.1

言語：ユーザーは、アプリケーション言語を選択することができます:英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、中国語(繁体字および簡体字)、ロシア語、日本語。

DisplayNote モバイル アプリケーション①

DisplayNote モバイル アプリケーションは、Android端末およびiOS端末から Newline Castレシーバへの画面/コンテンツの投影を可能にします。

サポート OS

- Android クライアント: Android 5.1.1以降
- iOS クライアント: iOS 12.1以降

• アプリのダウンロード

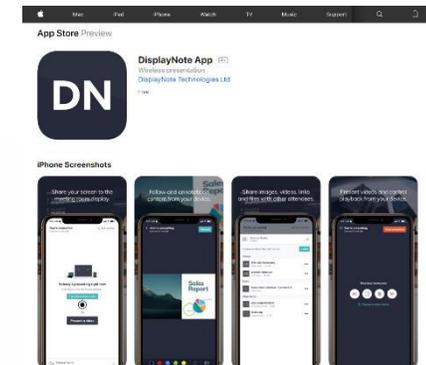
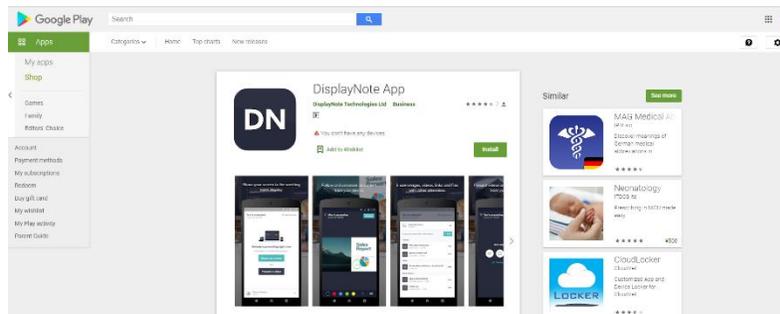
DisplayNote モバイル アプリは、Google Play および Apple ストアからダウンロード可能です。

• GooglePlayストアのダウンロード

(<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.displaynote.displaynoteapp&hl=en>)

• iOS アプリストアのダウンロード

(<https://apps.apple.com/us/app/displaynote-app/id1450159592>)



DisplayNote モバイル アプリケーション②

・iOS用アプリからのセッションへの参加

DN DisplayNoteモバイルアプリケーションを開き、セッション ID (Newline Castレシーバーホーム画面に表示) と自分の名前を入力し、セッションに参加します。



DN アプリケーションを起動



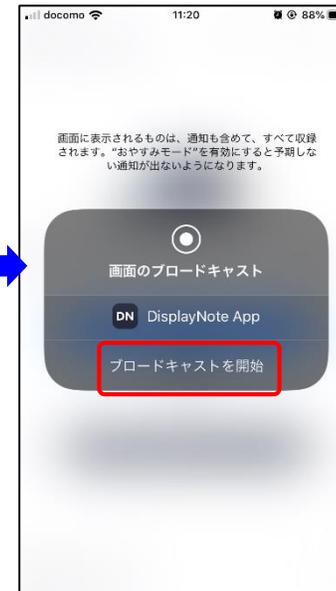
メインディスプレイ(レシーバー)に表示されているセッションIDを入力



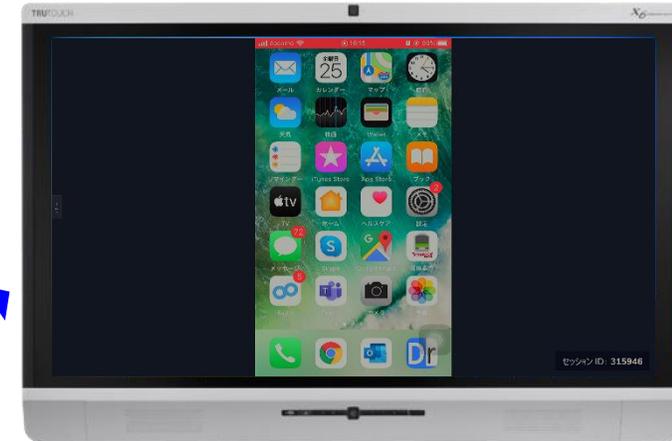
任意の名前を入力(半角英数字可)



カメラアイコンを押下



『ブロードキャストを開始』を押下すると3秒後に画面が投影されます。



iPhoneで縦にして投影した画面

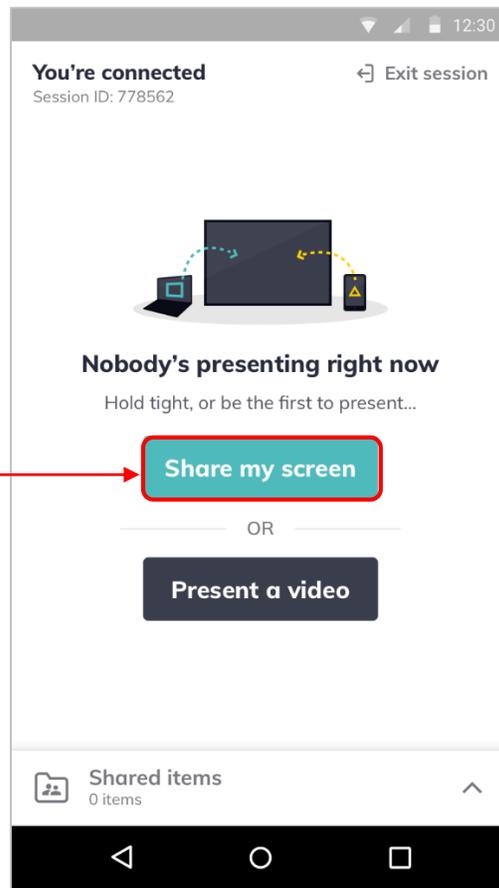


iPhoneで横にして投影した画面

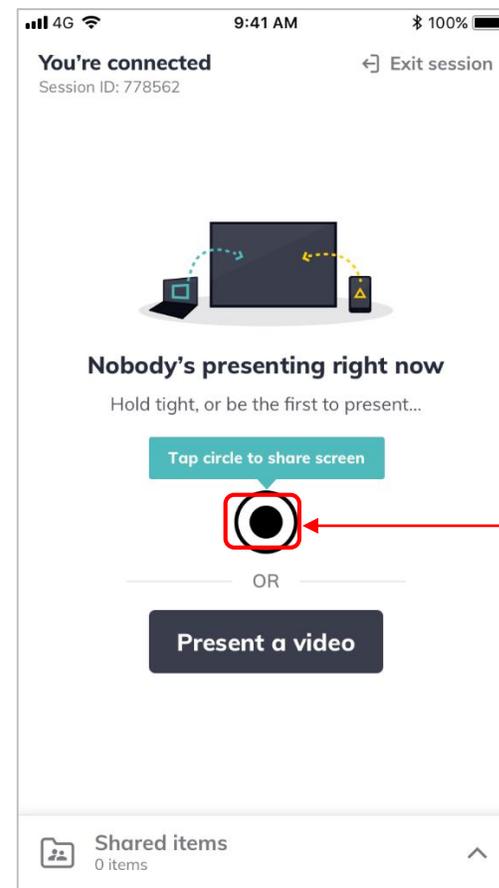
DisplayNote モバイル アプリケーション③

- ・ ホーム画面ユーザインターフェイス
セッションに参加すると、DisplayNote クライアント アプリのホーム画面が表示されます。

押下すると自分の画面を
投影/共有します。



※Androidアプリ画面



押下すると3秒後に自分の画面を
投影/共有します。

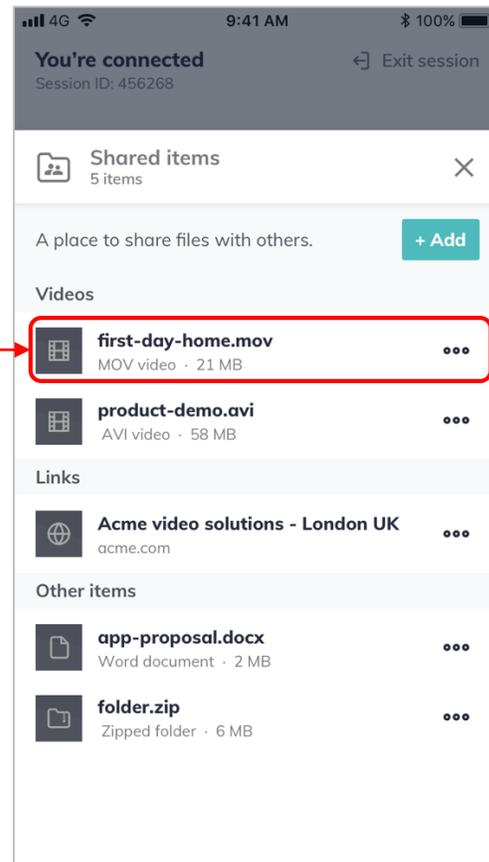
※iOSアプリ画面

DisplayNote モバイル アプリケーション④

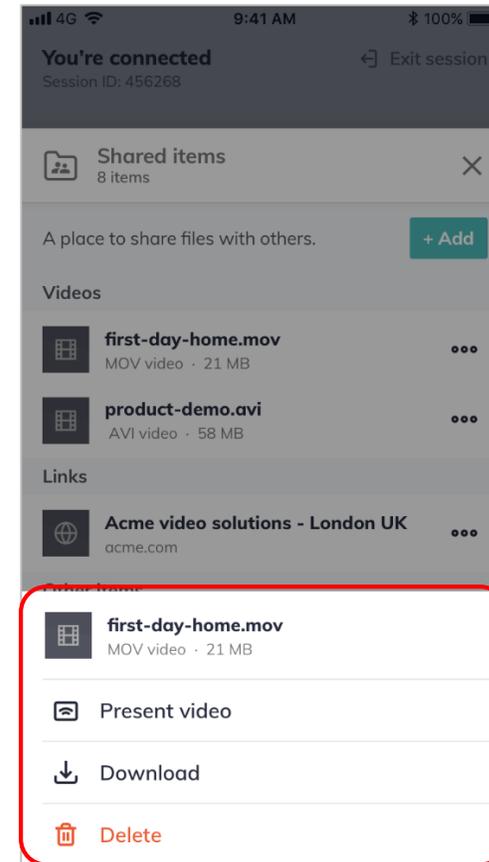
・共有アイテム

DisplayNoteクライアントアプリや Webアプリと同様に、モバイルアプリもセッションの共有アイテムにアクセスできます。オーディオファイル、ドキュメント、PDFや画像ファイル、ビデオやzipファイルを共有することができます。

任意のファイルを選択



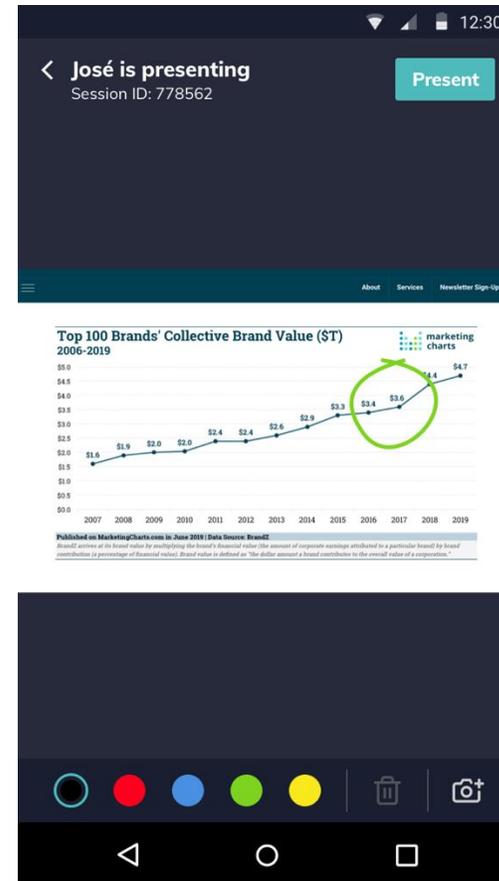
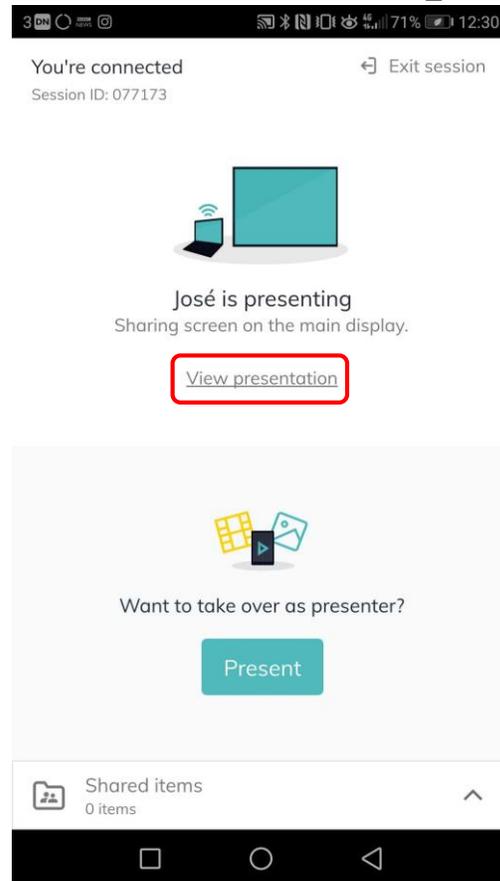
ダウンロード又は、またはファイルの提示/削除を選択



DisplayNote モバイル アプリケーション⑤

- ・プレゼン中の画面をモバイル端末で見る
- セッション参加者は、現在のセッションアクティビティを表示できます。これは、別の参加者が画面を共有したり、Newline Castレシーバー側のホワイトボードを使用したりできます。DisplayNote モバイル アプリから現在のセッションアクティビティを表示するには、ホーム画面から『プレゼンテーションの表示』オプションを押下するだけです。

セッションの現在のアクティビティを表示している間、ユーザーは、色を選択して注釈を入れたり、画面をキャプチャしたり(注釈含む)したり、すべての注釈を削除したりできます。



- ・ Airplayによる参加

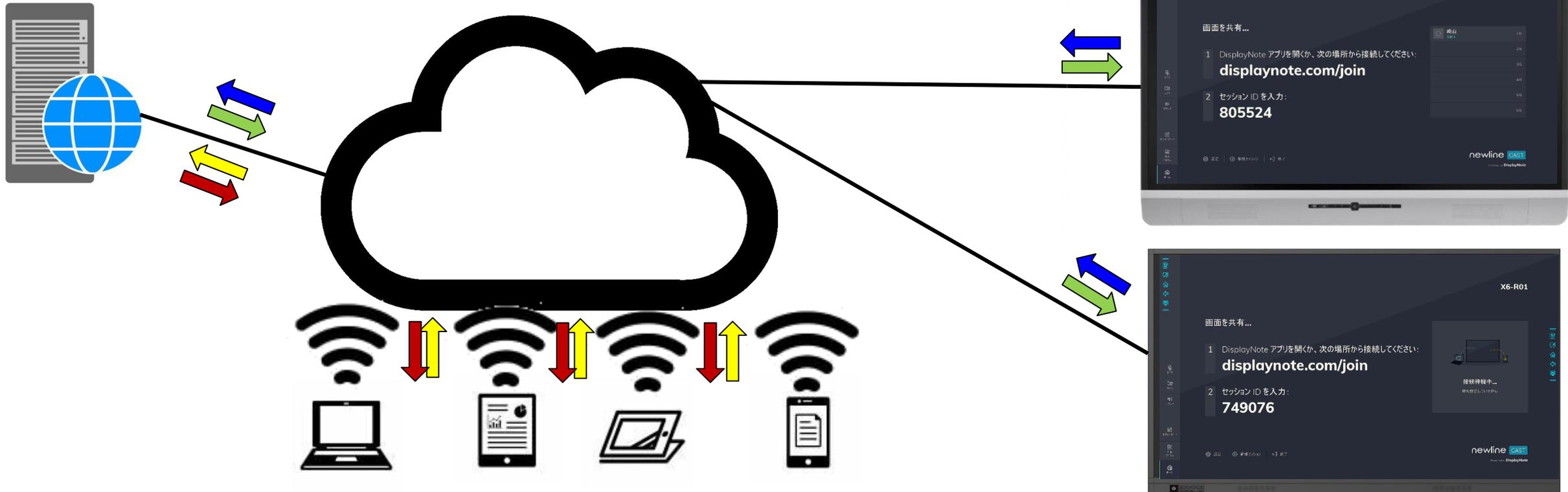
iOS デバイスおよびMacを使用しているユーザーは、Airplay を使用して画面の投影を行うこともできます。以下はiOSデバイスを使用したAirplayからの投影方法です。

1. iOS デバイスの下部から上にスワイプします。(※iPhone10は上部から下へスワイプ)
2. 「画面ミラーリング」というラベルの付いたオプションを選択します。
3. 一覧からNewline Castレシーバーを選択します(受信機の名前が受信機のホーム画面の右上に表示されます)
4. Airplayコードの入力を求めるメッセージが表示されます。Airplayコードは、Newline Castレシーバーのホーム画面に表示されるセッションIDです。



ファイアウォールとプロキシの設定①

- ・ファイアウォール
- リモート接続の場合、Newline Castレシーバーアプリと DisplayNote アプリでは、次のポートを介してインターネットにアクセスする必要があります。:
 ※使用プロトコル：TCP 80、TCP 443、UDP 53 ※^①^②



^①1.ローカル接続(同じローカルネットワーク上のアプリ)の場合は、次のポートが使用されます:TCP 1-65535(利用可能なものから選択されます)。UDP 1025-65535;TCP 4700、7000、7100(AirPlay接続の場合)。

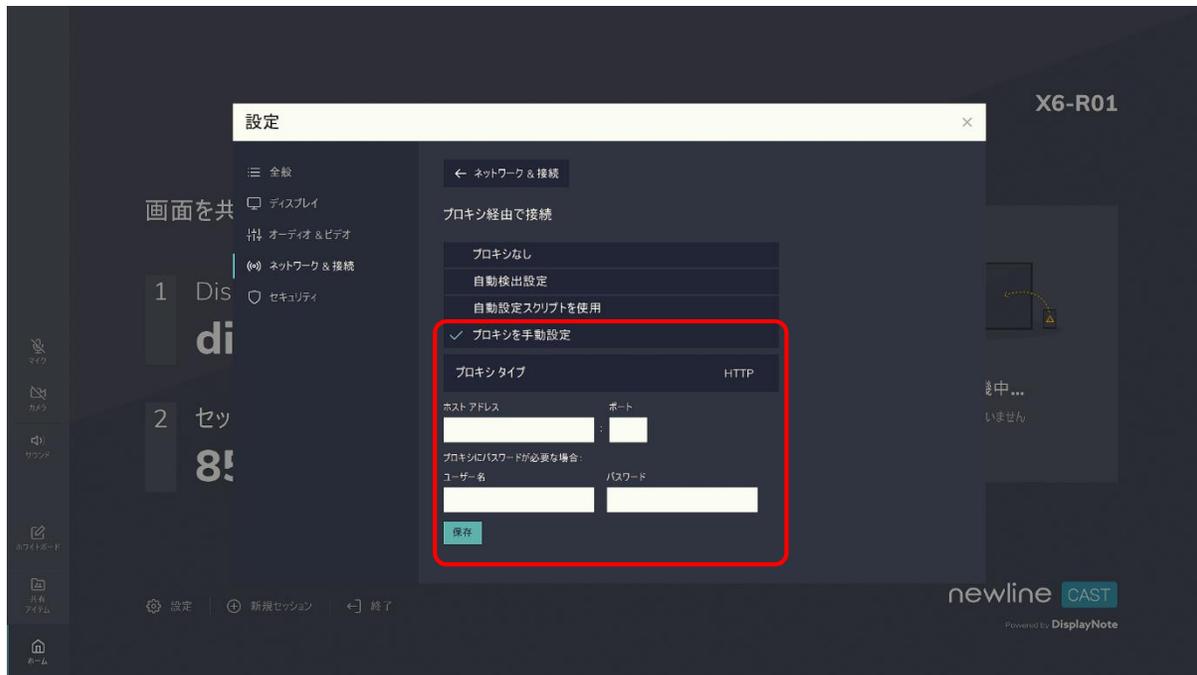
^②2.これらのポートでプロトコルフィルタリングを行うレイヤ7フィルタリングまたはプロキシがある場合は、次のプロトコルを許可する必要があります。
 ※HTTP、HTTPS、DTLS、XMPP、Bonjour protocols、SRTP、DNS、STUN、TURN、ICE。

ファイアウォールとプロキシの設定②

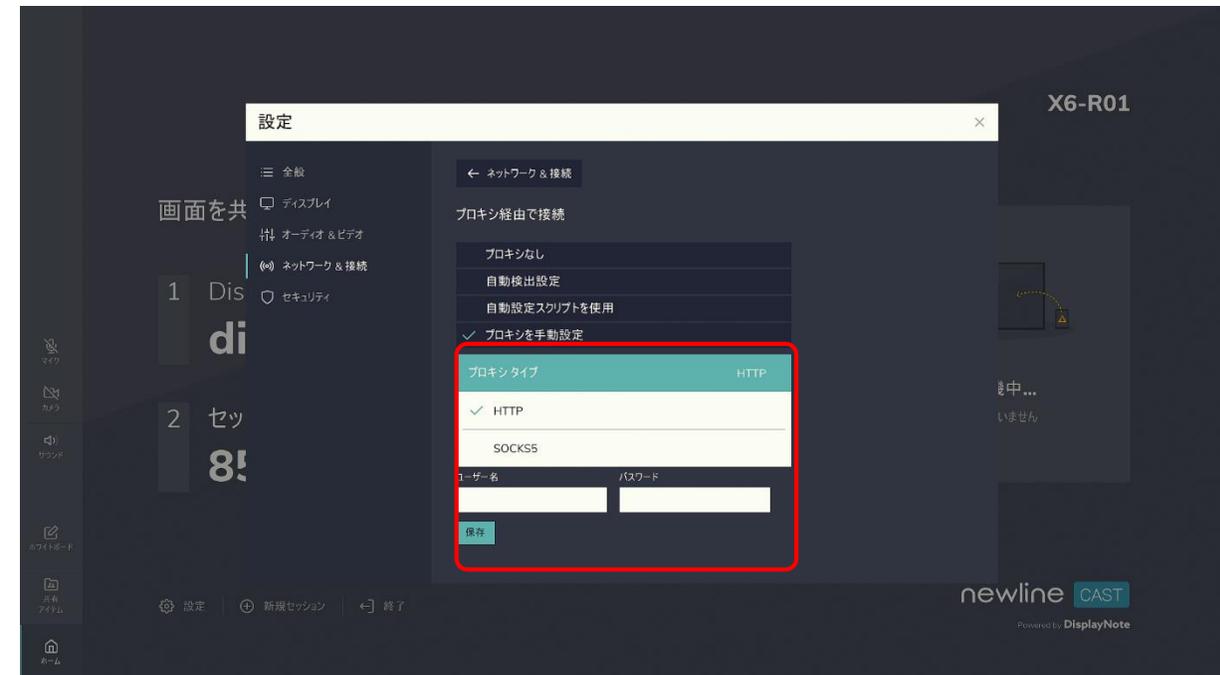
・プロキシ

Newline Castはプロキシ構成をサポートしています。アプリケーションでは、次のプロキシタイプがサポートされています。

- HTTP プロキシ (認証(パスワード)の有無にかかわらず)
- SOCKS 5 (認証(パスワード)の有無にかかわらず)
- 自動構成ファイル (PAC) Windows のみを持つプロキシ。
- システム プロキシ (Windowsのみ)



※プロキシ手动設定画面



※プロキシタイプ設定画面



ForceMedia

— Partnership is My Life —